

とよきた

やる気 がんばり 思いやり
学校だより 第10号 R8.2.24
宇都宮市立豊郷北小学校 市川 文人



ホームページ QRコード

冒険活動教室

1月29日(木)~31日(土)の三日間、5年生が、篠井町の冒険活動センターで「冒険活動教室」を実施しました。掲げたスローガンは、「41人 Let's try! 仲間を信じて踏み出す一歩」です。一日目は、「榛名山」の登山に挑戦! 険しい山道や岩場も、励まし合いながら皆で完登を果たし、「クラス旗」を高々と掲げました。二日目の「イニシアティブゲーム」では、どの種目も協力しなければ達成できないものばかりで、活動を通して、男女分け隔てなく助け合うこと、そして、最後まで諦めないことの大切さを学びました。また、「キャンドルファイヤー」では、静寂の中、一人一人の心に「協力の灯」・「挑戦の灯」が灯り、美しい歌のハーモニーがアリーナに響き渡りました。続いて、アトラクション「猛獣狩り」には、猛獣役として、沼尾教諭、河原教諭、高堂教諭が駆け付け、大いに盛り上げていました。



仲間と共に協力し挑戦する中で、互いの絆を強めた三日間。冒険活動センターを後にする時の子供たちの晴れ晴れとした表情から、活動の充実ぶりがうかがえました。また一つ、「金の思い出」を刻んだ冒険活動教室でした。

《あったかトピック》

後日、体調を崩して参加できなかった友達のために、「ミニ冒険活動教室」を体育館で再現。イニシアティブゲームや猛獣狩りを、皆で楽しみました。

第3回 授業参観

2月13日(金)、今年度最後の授業参観を実施しました。以下、各学年の学習内容です。

《1年生》

「それっておかしいよ」を題材に活発に話し合い、よいことを進んで行おうとする気持ちが高まりました。



《2年生》

8年間の成長を振り返り、支えてくれた人たちへ感謝の気持ちを伝えたり、元気一杯歌ったりしました。



《3年生》

「正しい手の洗い方」を学びました。養護教諭もアドバイザーとして加わり、学習効果を高めました。



《4年生》

「2分の1成人式」を開き、将来の夢を発表したり10年間の感謝の気持ちを家族に伝えたりしました。



《5年生》

身近にある丸い物を持ち寄り、その直径と円周の長さを協力して調べ、円周率を的確に導き出しました。



《6年生》

一人一人が思い描いた将来の「夢マップ」を堂々と披露し、自分の世界を広げることができました。



どの学年も、一年間のまとめにふさわしい「学び」と「成長」の姿を見せてくれました。また、参観後の学級・学年懇談会やPTA活動にも多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。今年度も残り一月余りとなりましたが、日々の生活を大切にしながら、「卒業を祝う会」や「卒業式」等、節目となる行事を成功させ、子供たちが胸を張って卒業・進級していけるよう、全力で教育活動を進めてまいります。

PTA 運営委員会

2月13日(金)、授業参観等の後、再度、PTA役員・委員の皆様にお集まりいただき、「PTA運営委員会」を開催しました。

冒頭、堀川里恵PTA会長から本年度の御礼と来年度はPTAの皆様への協力依頼と共に地域の方々にも広く支援を呼びかける旨、話がありました。

続いて、学校長より、本校の新たな強みとして「歌うこと」を取り上げ、その取組について、6年生の合唱の映像を視聴しながら説明がありました。各委員会からは、豊北文化祭の反省や今年度の総括、来年度の活動について報告がありました。PTA役員・委員の皆様、大変お世話になりました。



ワクワク「サッカー教室」

2月3日(火)から三日間、栃木県サッカー協会巡回指導員の稲垣浩充コーチをお招きし、全学年を対象に「サッカー教室」を開きました。この取組は、体育でサッカーを学習するこの時期に合わせ、教科体育の一環として、各学年の発達段階に応じたサッカーの指導をしていただくものです。



指導の特徴は、豊富な運動量です。一人一個ずつボールを持ち、様々な運動を次々と行います。また、ゲーム感覚で運動するので、子供たちは「キャツキャツ」と声を上げ、目を輝かせながらサッカーを楽しんでいました。

さらに、稲垣コーチの的確な指示と巧みなトークで子供たちを惹きつけ、終始、笑顔で活気のある学習が展開されていました。

授業の合間に、「子供たちが夢中になれるサッカーの学習を展開していただき、ありがとうございます。」とお伝えすると、「私自身がサッカーを心から楽しんでいます。」と話され、その言葉に、活気のある授業の極意を感じました。



学校保健・給食委員会

1月28日(水)、学校医の小澤武史先生をお招きして、「学校保健・給食委員会」を開催しました。

学校給食の試食に続き、本校の食育・体力・保健について、実態と取組の状況を報告。

最後に、小澤先生より「小児の睡眠」について、ご講話をいただきました。

適切な睡眠をとるには、朝、太陽の光を浴びることや「リズムのある生活」「運動の習慣化」「瞑想など心を落ち着かせる時間」が重要であることを教えてくださいました。また、睡眠と密接な関係にある「メラトニン(眠くなるホルモン)」と「セロトニン(活力が増すホルモン)」を、それぞれメラトニンジャ(忍者)、セロトニンジャ(忍者)に見立て、その働きを分かり易く説明していただき、大変勉強になりました。

適切な睡眠は、健康で明るい生活を営む上で大切な要素です。小澤先生から教えていただいたことを子供も大人も実践し、笑顔あふれる生活を送っていききたいと思います。



地域協議会

2月6日(金)、今年度の締めくくりとなる「第4回地域協議会」を開催しました。

初めに、五月女正典会長より、今年度の皆様の尽力に対し謝意を表すと共に、来年度も児童数が減り減少傾向が続く中、「今こそ、皆で力を合わせ学校を大いに盛り上げていこう。」と呼び掛けられました。

続いて、校長より、今年度の成果と課題を踏まえ、来年度の重点的な取組として「本校の強み(自然・人材・児童の特性)を生かした教育の推進」が提示されました。

また、学校マネジメントアンケートの結果を踏まえた意見交換では、「算数の習熟度別学習を充実させ、個に応じた指導をお願いしたい。」「地域の方々に広くボランティアを募りたい。」等、様々なご意見をいただきました。

皆様のご意見を、今後の教育活動に存分に生かしてまいります。役員・委員の皆様、一年間、大変お世話になりました。



雪に大はしゃぎ

2月9日(月)、朝の校庭は、一昨日から昨日にかけての雪があちらこちらに残っていて、登校してきた子供たちも「うわあ、まだ雪が残ってる。」「やったあ」と、そわそわした様子でした。

案の定、業間の休み時間は、子供たちは一斉に外に飛び出し、雪合戦開始！です。

「キャーキャー」とはしゃぎながら、雪を投げ合う子供たち。途中で、若手教諭が姿を現すと、元気MAXで先生と対戦。「えいっ」「それっ」と、集中砲火(雪!?)を浴びせると、「ウォーリヤーツ」と、すぐさま反撃。雄叫びと笑い声が校庭に響き渡りました。



また、別の場所では、「ミニミニ雪だるま」を作って、友だちと見せ合う姿も…。思い思いの雪遊びを楽しみました。

ある児童に、「雪遊びはどうでしたか？」と問うと、「雪は冷たかったけれど、心の中はポッカポカです。」と、満面の笑みで答えてくれました。



図書贈呈式

1月20日(火)、宇都宮法人会北支部長 田嶋富夫様 他2名の方々にご来校いただき、図書贈呈式を行いました。

この贈呈式は、「公益社団法人宇都宮法人会 北支部」様の社会貢献活動の一環として実現したもので、「世界遺産」「もしもマニュアル」等、児童図書 12冊を寄贈していただきました。

贈呈式では、田嶋様より「たくさん読んで力を付けていってください。」との言葉と共に目録が代表児童の高槻風夏さんに手渡されました。

子供たちからも「楽しそうな本をありがとうございます。」「表紙の絵が気に入りました。早く読みたいです。」等、思い思いの感謝の気持ちを伝えました。

今回寄贈していただいた本を皆で読み、大いに活用しながら、豊かな心を育ててまいります。宇都宮法人会北支部の皆様、大変にありがとうございました。

